

叙勲受章祝賀会開く

大阪医療品卸組合 大西前組合長

大阪医療品卸商組合前組合長の大西健路氏（宇都宮製作会長）の旭日双光章受章記念祝賀会が2月25日、大阪市内のホテルで開催された。医療品業界関係者など約150人が参加し、大西氏の長年にわたる功績を顕彰した。

発起人代表あいさつで大阪医療品卸商組合の松浦由治組合長（ピップ社長）は、大西氏

による宇都宮製作の経営基盤再構築と持続的成長、衛生用品の安定供給を通じた医療・介護・食品分野への貢献に触れ、「社会的要請

に真摯に応え続けてきた歩みが、今回の栄えある受章につながったものと確信している」と祝辞を述べた。来賓祝辞で大阪府健康医療部生活衛生室業務課の井上和幸課長は「医療品業界の発展向上と公衆衛生の確保に対する長年の尽力が高く評価された」と紹介。組合の薬物乱用防止啓発事業への継続的な協力や感染症

拡大時の医療品の安定供給体制構築への貢献にも言及し「行政施策の推進で多大な支援をいただいた」と謝意を述べた。

また業界団体を代表し、日本衛生材料工業連合会の天田泰正会長（白十字社長）は、「創業以来の理念を堅持しつつ、時代の変化に即した経営を実践されると共に、業界団体の要職を通じて産業全体の発展に寄与してきた功績に敬意を表したい」と述べた。

はなく、業界関係者、取引先、社員、そして家族をはじめとする多くの皆さんの支援、厚情の賜物」と謝意を表した。

その上で「この栄誉を新たな責任として受け止め、

今後も医療品業界ならびに関係団体の発展、社会への貢献に微力ながら尽くしていきたい」と決意を語った。

大西氏は1949年5月、神戸市生まれの76歳。87年に宇都宮製作に入社



叙勲祝賀会で謝辞を述べる大西氏(左)

し、90年社長に就任。その後、2008年から15年までの7年間、大阪医療卸商組合の組合長としてリーダーシップを発揮するなど、医療衛生事業に貢献してきた。